

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 11 月 19 日 (2024.11.19)

【公開番号】 特開 2023-89727 (P2023-89727A)
【公開日】 令和 5 年 6 月 28 日 (2023.6.28)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-120
【出願番号】 特願 2021-204410 (P2021-204410)
【国際特許分類】

A 44 C 5/00 (2006.01)

10

A 44 C 5/02 (2006.01)

【FI】

A 44 C 5/00 C

A 44 C 5/02 D

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 11 月 11 日 (2024.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0073

20

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0073】

また、第 2 の装飾部材 32 の第 2 係合部 34 は、図 15 に示すように、装飾本体 32a の中間部における上下面に設けられている。この第 2 係合部 34 は、第 2 係合部 33 と同様、その形状が切欠き溝 30 の断面形状と同じ形状、つまり逆 T 字形状に形成されて、バンド本体 5 の切欠き溝 30 に係止されるように構成されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0076

30

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0076】

同様に、この第 4 実施形態の時計バンド 2 では、第 2 の装飾部材 32 の装飾本体 32a の両側に設けられた第 1 係合部 32c がバンド本体 5 の両側に設けられた係止凹部 10 にスライド可能に係止されると共に、装飾本体 32a の中間部に設けられた第 2 係合部 34 がバンド本体 5 の中間部に設けられた切欠き溝 30 にスライド可能に係止されるので、装飾性を高めることができると共に、第 2 の装飾部材 32 を簡単に装着でき、且つ第 2 係合部 34 がバンド本体 5 の裏面側から突出することがないため、第 1 の装飾部材 31 と同様、装着感が良く、良好に装着することができるほか、第 1 の装飾部材 31 をバンド本体 5 に安定した状態で確実に且つ良好に取り付けることができる。

40